令和８年度秋季建築物防災週間関連行事

建 築 物 防 災 講 演 会（次 第）

日　時　令和８年９月３日（木）　14 時 00 分～16 時 00 分
会　場　建設交流館　８階 グリーンホール　定員２００名

1.挨　拶　　一般財団法人大阪建築防災センター　理事長　多田 純治
14:00～14:15　　大阪府都市整備部住宅建築局 建築指導室長　小泉 真一郎氏

2.講　演　　木造建築を取り巻く環境の変化　― 木造利用の促進と法令改正 ―
14:15～16:00（休憩 15 分）　　講 師　京都大学 生存圏研究所 教授　五十田 博 氏

【講演概要】

これまで大地震が発生するたびに人命を損なうような被害を生じていた木造建物であるが、現在、資源循環材料である木材の建築利用は国をあげて、さらに世界的な潮流でもある。世界では木材を構造材料とした 20 階建て以上の建築物も建てられており、わが国でも 10 階を超えるような建築物ができた。また、極大地震でも無損傷、そして繰り返しの地震に強い木造住宅などの開発も進められている。本講演ではその背景、木造建物の耐震性能の確保、木材の利用促進のための法令改正、そしてその技術的背景について概説する。

■講師プロフィール■

五十田（いそだ） 博（ひろし） 氏　　京都大学 生存圏研究所 生活圏木質構造科学分野 教授 博士（工学）

2011 年に信州大学工学部教授を経て、2013 年より京都大学生存圏研究所教授、現在に至る。2020 年から 2023 年まで同研究所副所長を務める。これまでに建築研究所客員研究員、カリフォルニア大学サンディエゴ校在外研究員、ニューヨーク州立大学バッファロー校客員研究員などを歴任。木造建築の耐震安全性に関する研究、中層大規模木造建築の開発と性能評価、CLT などの新材料や新たな構造システムの開発と構造性能評価など、木造建築分野における耐震工学研究を牽引。国土交通省の社会資本整備審議会臨時委員、文部科学省の学校施設耐震化に関する委員などを務めるほか、日本建築学会副会長・災害委員会委員長など木造建築・耐震工学分野の発展に幅広く貢献している。

主　催　　一般財団法人大阪建築防災センター
後　援　　大阪府　大阪市　豊中市　堺　市　東大阪市　吹田市　高槻市　守口市　枚方市
八尾市　寝屋川市　茨木市　岸和田市　箕面市　門真市　池田市　和泉市　羽曳野市
建築物防災推進協議会